

令和3年度 公務員・医療・ビジネス専門学校事業報告

1. 教育活動の基本方針

①各部局の連携と組織の強化

- ⇒菜園調理師生徒の公務員希望者へ試験対策講座を実施し、一次試験の受験者全員合格を果たした。
- ⇒本校独自の公務員試験最終合格保証制度や公務員試験の高い合格率を広報し、本校への入学の価値を発信する活動を行った。

②経営安定化への取組み

- ⇒組織体系を更に強固にし、学校運営・意思決定の即効性・業務遂行能力が高められた。財政の健全化・安定化の実現に向けて、更なる強化を図りたい。
- ⇒収支均衡のポイントとなる生徒募集が目標を上回れず、備蓄実現には至らなかった。
- ⇒公務員系コースは『公務員試験最終合格保証制度』、医療系コースは幅広い学びと資格取得を主な特長とし広報活動を行ったが認知度が上がらず、募集活動にも苦慮している。

③特別強化事業

【組織の充実・強化】

◇(総合学科医療ビジネスコースについては令和3年度より変更)

- ⇒公務員系コースは、生徒の学習到達度に合わせた学びを提供する「習熟度別カリキュラ」を実施し、個々の実力を引き上げるきめ細やかな指導を実践した。
- ⇒医療系コースは、「医科」「歯科」「調剤」「福祉」「ビジネス」の5分野の多面的かつ厳選された検定試験の取得を目指す教育課程が特長であり、今年度も多方面での貢献が期待される進路が決定した。
- ⇒公務員系・医療系共に、長く社会で活躍していく将来を見越し、幅広い知識を身に付けることの必要性をガイダンスした上でカリキュラムを進めていった。

【広報関連強化事業】

- ⇒ターゲット校を意識し、適時適切な広報内容と時期に合わせた高校訪問を実施した。高校への訪問報告、ガイダンス等への参加者状況等、広報担当者間での情報共有を行い、体系的な生徒募集に努めた。
- ⇒進路ガイダンスは感染症による影響もあり、出席の取捨選択を行いながら参加したが、開催が中止となることもあった。
- ⇒高校訪問においても感染症の影響が大きく、高校内の担当教員との面会が叶わないこともあった。面会予約の取得や事務窓口への依頼等、時期に応じて苦慮しながら進めた。
- ⇒今年度は年4回の訪問を基本とした効率的な高校訪問を計画していたが、アポイントを取得していても窓口での資料引き渡しに終わることも多く、手応えを感じられる訪問は大変少なかった。
- ⇒次年度は、環境や情報を受け止め対応しながら、結果に繋がるより良い体制作りを実行していく。
- ⇒オープンキャンパスは感染拡大時期には個別対応の対応を取り、中止にはせずに参加者の進路選択の前進に向けて努めた。
- ⇒令和5年度入学生向けの学校案内は、卒業生の実績やメッセージを差し替え、より高校生にとって本校の学校生活が身近に感じられるよう変更を行った。
- ⇒ホームページで案内のイベント等は、LINEに連携しSNSは時期に合わせて告知するなどタイムリーかつ周知に繋がる発信を心掛けた。次年度はSNSの種類を拡充し結果に繋がる情報発信に努めたい。
- ⇒公務員系コースの『公務員試験最終合格保証制度』の高い評価は一部より感じられるものの認知が不十分である。次年度は合格率100%の実績を目指すと共に更に周知を強化し目標定員の実現に努める。

【研修強化事業】

- ⇒年に一度、高校の教員を招き、研究会を実施していたが、感染症の影響が拡大し、今年度は実施しなかった。教員個々の教育力向上や指導方法の共有のため、次年度以降は更に積極的に、公開授業・研究発表を実施していきたい。
- ⇒学校施設の使用方法を指導し、施設・設備の維持に励んだ。トイレ内設備等の不具があったが早急に対応し大きな修理等の必要はなかった。引き続き生徒への指導等管理体制の強化に結び付けていく。
- ⇒医療系コースの取得資格を見直し、内部生徒からの評価する声も聞こえた。
- ⇒本校の特色を明確にするため、常に新たな視点を持って学校の魅力拡大に努めていく。
- ⇒令和3年度の認可申請は見合わせた。令和4年度以降、申請の必要性も含めて改めて協議していく。
- ⇒令和3年度は感染症による影響により、やよい幼稚園・保育園での実習中止など変更を余儀なくされた。一方、医療実習については医療機関の協力により、感染防止対策は徹底した上で滞りなく行われ、現場での学習の機会を保つことができた。医療系コースで実施される現場実習は、社会の現場で求められる人間力を学ぶ良い機会となるため、次年度も機会の確保に努め生徒に多くの経験を提供したい。
- ⇒菜園祭は感染症の影響により、今年度は中止となった。
- ⇒スポーツ大会は感染症の影響により菜園調理師専門学校との合同開催は控え、本校のみでの開催とした。春・秋の年2回開催をし、計画・運営を通し、協調性や実行力などを指導する良い機会となった。
- ⇒交換授業はコロナ禍のため内容変更を行いながら実現し、学習内容の共有と交流の良い機会となった。

2. 教育活動重点計画

【教務】

①教育課程

⇒令和3年度入学生より適用となる医療系コースのカリキュラムを、滞りなく遂行した。登録販売者試験は令和4年度が本校のカリキュラムで対応する初めての受験となるため、合格実績を挙げ、本校の魅力を引き上げていく。

②授業及び学習活動

⇒昨年度に導入したTutor制を、更に生徒対応を密に行える体制にするため、令和3年度はクラス毎に主たる担当者を配置することとした。

⇒地域の魅力に触れ、調査内容の発表を通して社会に関わる意識と交流を行っていく「春期実践講座」を予定通り実施した。

⇒令和3年度より新たに加えた「冬期実践講座」では、社会で求められる主体性やコミュニケーション力を身に付け、組織人として活躍できる能力を育成するため、グループワークの実践を行った。

⇒合格率が振るわなかった試験もあったので、次年度以降、検定研究を深め、合格を導く講義の提供を行っていき、合格率に繋がる指導を実践していく。

⇒ディベートやグループディスカッションの手法を通して、論理的な自己主張の重要性と社会への自主的な関わりの意識づけを行った。

【生徒指導】

⇒定期の二者面談や三者面談に加え、生徒の状況に合わせた個別の面談や対応により、生徒一人ひとりの特性の認知、進路決定に向けての個別アドバイスが有効的に行われた。

⇒年度初めの教務主任による一律指導においてルール of 徹底に努め、日常の指導は、生徒の自主性に委ねる指導により、自主的なルール順守の姿勢を育成した。

⇒公務員試験内容の変化が見られるため、令和4年度の指導内容に反映していくこととした。

【教科外活動】

⇒令和3年度は、卒業生を招いてのオリエンテーション等は実現しなかった。

【医療実習】

⇒生徒の要望に合わせた新規医療機関での実習を要請し、実現した。

【健康管理】

⇒検温や手指消毒は、予め定めた場所で漏れなく行うことを指導していたが、完全な徹底には至らなかった。次年度も日々の呼びかけを継続し、健康管理に努めていく。

⇒就職活動等で県外移動を伴う場合には、「行動計画表」および「行動記録報告書」の提出書類を確認し、必要に応じて自宅待機を求め、感染防止対策を行った。

⇒ガイドラインに基づき、感染が疑われる場合は自宅待機を指示し、感染拡大防止に努めた。

⇒今年度は授業体制への影響は無かった。

3. 広報活動重点計画

⇒Tutor2021(夜間講座)の参加登録者数は、昨年度の半減であった。本校の指導力PRの場としては有意な企画であるといえるが、高校生の時間的需ととの適応や、参加者からの入学が大変少ないことを考えると、これまでの形での継続は相応しくないと判断した。次年度は、より参加しやすい土曜講座に体制を変更し、広報的意義を結果に反映できるよう取り組んでいく。

⇒『現役合格プロジェクト』の一連をパッケージとしてポスターを制作し、高等学校及び高校生へPRを行った。しかし、夏休み期間中のイベント参加者数は他校に大きく差を付けられ、高校内で課外無い公務員試験受験者が、長期的・体系的な他校の講座に継続して参加をする傾向が見られた。次年度は、情報提供から参加者へ、参加者から入学者へと導く意識をより一層持った展開を行っていく。

⇒今年度は、感染症による影響から参加者が激減した。次年度以降も、対面での実施が難しい状況も予想されることから、オンライン開催の環境整備も行っていく。

⇒生徒募集における広報強化事業は、コロナ禍による制限もあり、十分な活動ができず結果も出せないまま年度末を迎えた。広報手段の検討を繰り返し、結果を重視した体系的な広報戦略の計画・実行・検証を継続して行っていく。

⇒openキャンパスは感染症対策のため在校生の参加を中止し、教員のみでの対応、または個別対応で実施した回もあった。盛り上がりには欠けるものの、丁寧な対応を最大限心掛けた。

⇒感染対策もあり企画した「WEBオープンキャンパス」や「WEB個別説明会」は、保護者の参加も見込んでの案内をしていたが、利用の機会は無かった。

⇒今年度、医療系独自のイベントは実施しなかった。特に医療系希望者の拡大に向けて、次年度以降、企画・実行をしていきたい。

⇒ホームページの更新情報のタイミングが適時ではない時もあり、業務管理を徹底してこととしている。

⇒医療系コースのカリキュラム変更に伴い、令和4年度入学生向けの学校案内より内容の変更を行い魅力をアピールした。取得資格や履修範囲の拡充など、進学 of 価値 of 明示を意識した。

⇒令和5年度入学生向けの学校案内は、卒業生の実績を一部リニューアルした。

⇒今年度はAO入試での出願者は1名だった。早期進路決定・自己推薦での入学に対応するため、次年度入試の体制も整えている。